

# 適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤及び炭酸水素ナトリウムを含む農薬の総使用回数	使用方法
野菜類	うどんこ病	800~1000	150~300ℓ ／10アール	収穫前日 まで	—	散布
	灰色かび病					
ばら	うどんこ病	800	150~300ℓ ／10アール	収穫前日 まで	—	散布
	灰色かび病					
ホップ	うどんこ病	800	200~500ℓ ／10アール	収穫前日 まで	—	散布
	灰色かび病					

## 効果・薬害等の注意

- ① 薬剤は少量の水に溶かしてから所定量の水を加え、ゆるやかに攪拌してください。
- ② 散布液調製後は、長時間放置せずに散布してください。
- ③ 病害の発生初期から定期的な予防散布をしてください。多発生が予想される場合には効果が劣ることがあるので注意してください。
- ④ 誤って高濃度で使用すると薬害を生じるおそれがあるので、所定の希釈倍率を厳守してください。
- ⑤ 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態、及び散布方法に合わせて調節してください。
- ⑥ にかうりに使用する場合、品種により薬害を生じるので注意してください。なお、えらぶ、か交5号、チャンピオン、久留米百成2号、吉田系の品種では薬害を生じた事例があるので使用をさけてください。
- ⑦ 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。
- ⑧ 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等、関係機関の指導を受けることをおすすめします。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載事項以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



包装：250g×40袋 500g×20袋

# 混用事例集

本剤は弱アルカリ性です。強酸性の薬剤やアルカリ性薬剤と混用できない農薬との混用はさけてください。

種類	薬剤名	トマト	きゅうり	メロン	いちご	かぼちゃ	ピーマン	なす	すいか	ばら*
殺虫剤	アーデント水和剤				○					
	アクテリック乳剤		○	○	○					○
	アグロリン乳剤				○					
	アダブロン乳剤				○					
	アディオソ乳剤		○	○	○		○			
	アドマイヤー水和剤		○	○	○				○	
	アフーム乳剤	○	○	○	○					
	アブロード水和剤		○	○	○					
	オザダン水和剤25		○	○	○					
	オルトラン水和剤	○			○				○	
	カスケード乳剤	○			○				○	
	コデツフロアブル	○		○	○				○	
	コロマイト乳剤				○					
	サンマイトフロアブル	○			○				○	
	スピノエース顆粒水和剤	○	○		○					
	スプラサイド乳剤40				○					
	スミチオン乳剤				○					○
	センターリ顆粒水和剤	○			○					
	ダニトロンフロアブル			○	○					○
	ディブテックス乳剤		○		○					
テルスター水和剤				○						
トレボン乳剤	○			○						
ニッソラン水和剤				○						
ノーモルト乳剤				○						
パロックフロアブル		○		○						
ピラニカEW		○		○					○	
フェニックス顆粒水和剤		○		○			○	○	○	
ベストガード水溶剤		○		○			○	○	○	
マイトコーネフロアブル		○		○						
マッチ乳剤	○			○						
マブリック水和剤20				○				○		
マラソン乳剤				○					○	
モスピラン水溶剤	○	○		○				○		
ランネート水和剤45				○						
ロディー乳剤				○						
アミスター20フロアブル	○	○		○						
アリエッティ水和剤		○		○						
アリエッティC水和剤		○		○						
イオウフロアブル				○						
オーソサイド水和剤80		○		○	○*1					
カッパーシン・カスミンボルドー		○		○			○			
カンタスドライフロアブル	○*2	○*2		○			○*2		○*2	
キンドーフフロアブル	○			○						
ゲッター水和剤				○						
サルパトールME液剤				○						
サルファール				○	○*1					
サンヨール乳剤				○				○		
サブロー乳剤				○			○		○	
ジマンダイセン水和剤	○	○		○				○		
ストロビーフロアブル				○						
スミレックス水和剤	○			○				○		
セイビアフロアブル	○			○				○		
ダコニール1000	○			○				○		
デランフロアブル				○						
トップジンM水和剤	○	○		○				○		
バイコラル水和剤				○						
バイレトン水和剤5				○						
バンチョTF顆粒水和剤	○			○						
ビスダイセン水和剤	○			○						
フルビカフロアブル	○			○						
ベフドー水和剤	○			○						
ベルケート水和剤	○			○						
ベンレート水和剤	○			○						
モレスタン水和剤	○			○						
ラリー水和剤	○			○						
リドミルM2水和剤	○			○						
ルビゲン水和剤	○			○						
ロブラール水和剤	○			○						
ニース	○			○						

\*1 印の混用は使用時期に注意してください。  
\*2 使用直前の混用なら問題なかった。  
※ばらの供試品種：ドロマス、ティネケ、ロテローゼ

お問い合わせ、ご注文は



# ハーモメイト 水溶剤

農林水産省登録第18788号

野菜類さび病に  
適用拡大!!



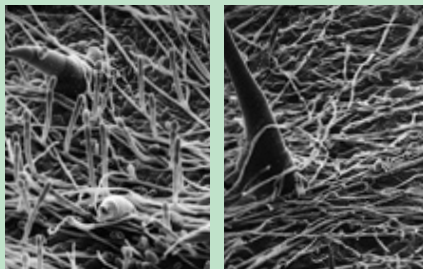
- 特別栽培農産物生産に使用しても、化学合成農薬としてカウントされません。
- JAS(日本農林規格)で定める有機農産物生産に使用することができます。

# ハーモメイト 水溶剤

農林水産省登録第18788号

ハーモメイト水溶剤は食品や医薬品に利用されている炭酸水素ナトリウムを有効成分とする殺菌剤で、理化学研究所により植物保健薬として開発されたものです。本剤の有効成分を界面活性剤でコーティングすることにより殺菌剤としての有効性を飛躍的に高め、いちご・きゅうり等のうどんこ病に高い効果が確認されています。また、人畜、作物、土壌及び環境等に対して極めて高い安全性が確保されています。

きゅうりの葉の表面における  
うどんこ病菌の電子顕微鏡写真



▲薬剤処理前 ▲薬剤処理後



●いちご、うどんこ病



●ピーマン、うどんこ病



●きゅうり、うどんこ病



●メロン、うどんこ病



●すいか、うどんこ病



●ホップ、うどんこ病



●しそ、さび病

## 特長

優れた効果

### 1.優れた効果

- うどんこ病・灰色かび病・さび病に対して高い治療効果を示します。特に発生初期（病斑が少し見え始めた時期）の散布が効果的です。
- 特異的な作用機作から、うどんこ病・灰色かび病に耐性が出にくいと考えられます。

高い安全性

### 2.有機農産物生産にも使用できる

- 特別栽培農産物生産に使用しても、化学合成農薬としてカウントされません。
- JAS（日本農林規格）で定める有機農産物生産に使用することができます。

### 3.人や有用動物、作物、環境に極めてやさしい

- 有効成分の炭酸水素ナトリウム（重曹）は古くから食品や医薬品等に利用されており、人体に対して安全性が高い成分です。
- 蚕、ミツバチ、マルハナバチ等に対して高い安全性が確認されています。
- 植物体表面に付着した炭酸水素ナトリウム（重曹）は最終的に植物に吸収され、特に炭酸水素イオンは光合成の原料として利用されます。
- 炭酸水素ナトリウムの分解物であるナトリウムイオン及び炭酸水素イオンは自然界に広く分布するもので、環境にやさしい薬剤です。

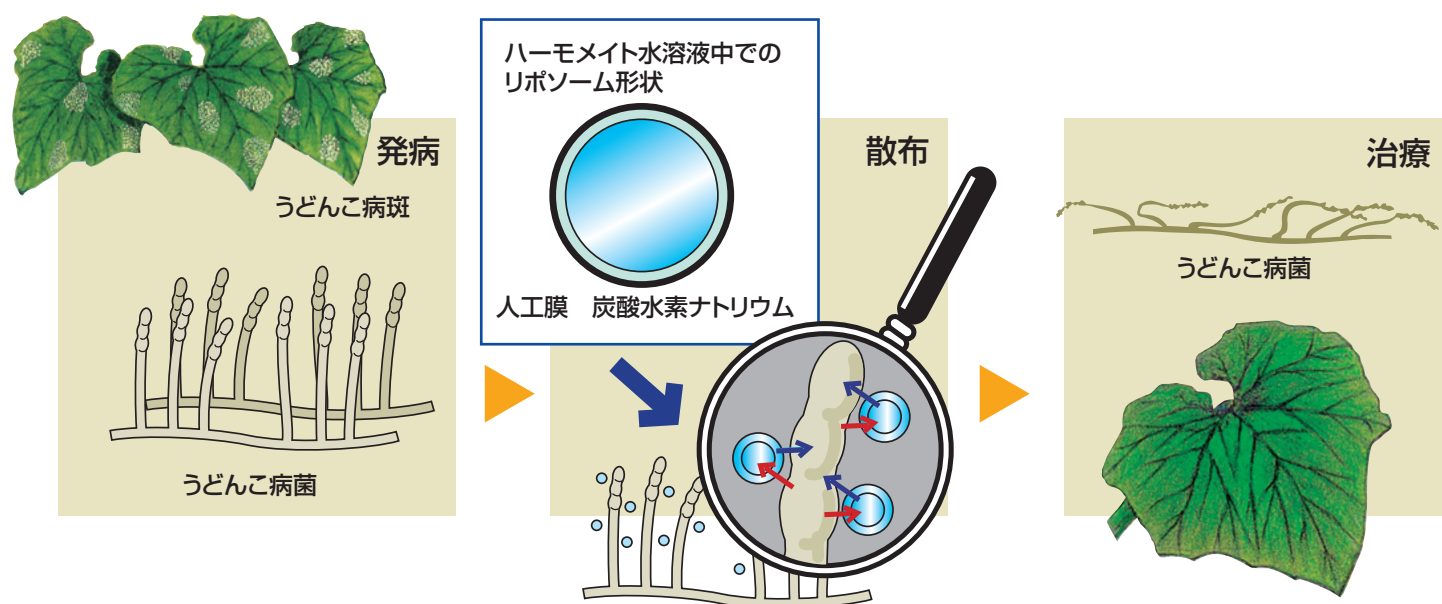
優れた簡便性

### 4.使いやすい

- 農作物の収穫前日まで安心して使用できます。

## ハーモメイト水溶剤 作用様式

ハーモメイトの水溶液はリポソームを形成し、その中に高濃度の重曹が溶解しています。リポソームはうどんこ病菌の孢子や菌糸と親和性を持ち、この溶液が散布されると高濃度の重曹が病原菌表面に付着することになります。その働きにより病原菌の細胞壁や内部の生理機能に障害を与え、孢子の発芽や孢子の形成などを阻害し、うどんこ病を治療することになります。



## 製剤特性

### 有効成分

- 一般名：炭酸水素ナトリウム
- 試験名：M<sub>2</sub>VP（炭酸水素ナトリウム水溶剤）
- 化学名：炭酸水素ナトリウム
- 構造式：NaHCO<sub>3</sub>
- 成分量：炭酸水素ナトリウム………80%

### 安全性

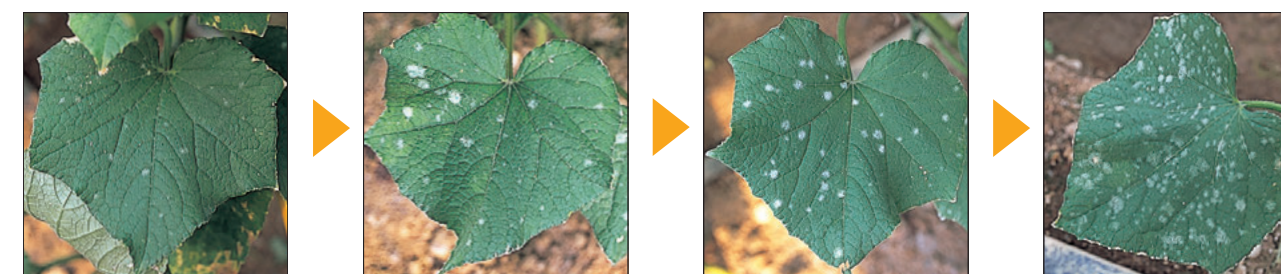
- 人畜毒性（普通物※） ※毒劇物に該当しないものを指している通称  
急性経口毒性 ラット♂：LD<sub>50</sub>≥5,000mg/kg  
♀： ≥5,000mg/kg
- 魚毒性（A類相当）  
コイ：LC<sub>50</sub>（24hrs）30mg/l  
（48hrs）24.6mg/l  
ミジンコ：EC<sub>50</sub>（24hrs）32mg/l  
（48hrs）14.3mg/l

## 上手な使い方

### 1. 散布適期の見極め

ハーモメイトは極初期の発病時に散布すると治療効果を発揮する薬剤ですので、この発病程度を見極め散布してください。

<発病進行状況>



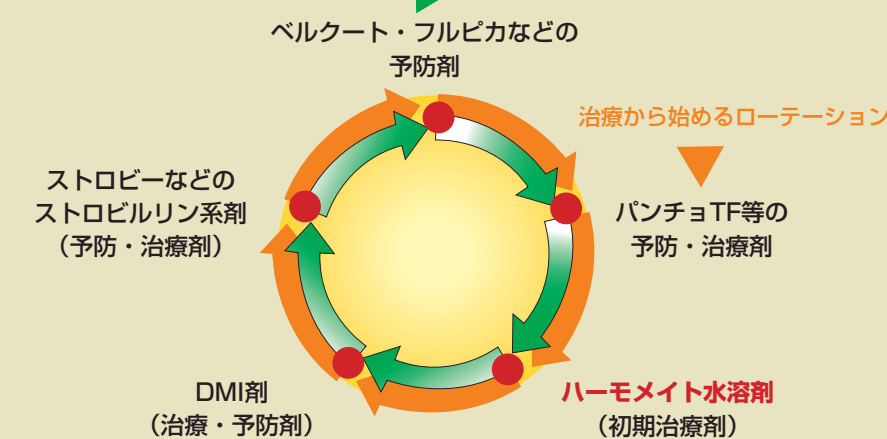
ハーモメイトの散布適期

ハーモメイトは特異的な作用機作から耐性が出にくい薬剤ですが、防除効果を安定させるためには作用機作の異なる系統の薬剤を組み合わせ、ローテーション散布することが有効です。

### 2. ローテーション散布（輪番散布）

#### うどんこ病防除モデル

☆予防から始めるローテーションのスタート



●展着剤加用により安定した効果が期待できます。